

本校の現状と沿革

I 本校の現状

1. 学校経営

1. 本校の教育方針

高等学校

本校は、教育基本法第一条に示された教育の一般目標並びに学校教育法第四十一条・第四十二条に準拠して高等普通教育を施し、かつ名古屋大学教育学部との共同立案による教育計画に従って、教育の理論および実際に関する研究ならびにその実証を行い、かねて名古屋大学学生の教育実習を行うことを目的とする。(名古屋大学教育学部附属高等学校学則第一条)

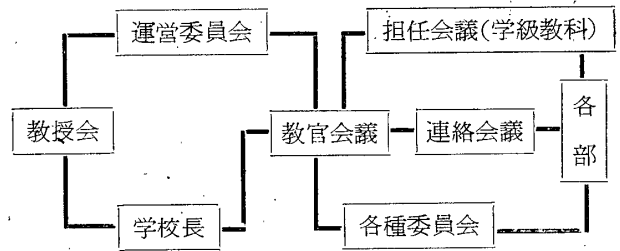
中学校

本校は、教育基本法第一条並びに学校教育法第三十五条・第三十六条に準拠して中学普通教育を施し、且つ名古屋大学教育学部との共同立案による教育計画に従って、教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行い、兼ねて名古屋大学学生の教育実習を行うことを目的とする。(名古屋大学教育学部附属中学校学則第一条)

ロ. 校務分掌一覧表

学校長	総務部	佐伯正一 (音)	平野幸雄 (英)
		天野菊三郎 (体)	鈴木洋一郎 (国)
	教務部	織田長繁 (社)	戸刈進 (理)
		丹羽義信 (英)	加藤十八 (理)
		加藤剛 (英)	
	指導部	原田秀雄 (体)	三橋一夫 (理)
		新海寛 (数)	金田トシ子 (家)
		稲山沢子 (体)	
	図書部	渡辺貞夫 (理)	岩倉一 (数)
		中野満男 (図)	都築亨 (社)
研究部		丹下省吾 (英)	福中康子 (国)
		石黒彰二 (社)	畑実 (国)
		兵藤祚夫 (数)	中根一芳 (理)
		中尾正三 (社)	
事務職員	白井勝美	高橋茂夫	
	杉浦三良	犬飼末吉	
	斉藤音蔵		
	松島幸子	藤田公子	
	渡辺名賀子	長谷川昇昭	

1. ロ. の附. 図本校運営組織



ハ. 高等学校単位一覧表

	教科	科目	第1学年	第2学年	第3学年
必修	国語	国語(甲)	3	3	3
	社会	一般社会	5		
	保健体育	保健体育	3	3	3
選	国語	国語(乙)	2	2	2
		漢文	2	2	2
	社会	日本史		5	
		世界史		5	
		人文地理		5	
		時事問題		5	
	数学	一般数学		5	
		解析1		5	
		解析2		5	
		幾何		5	
理科	物理		5		
	化学		5		
	生物		5		
	地学		5		
能芸	音楽	2	2	2	
	図画	2	2	2	
	書道	2	2	2	
家庭	家庭A		7		
	家庭B			7	
外国語	英語(甲)	5	5	5	
	英語(乙)	5	2	2	

備考

単位履修の方法は次の通りとする。

(イ) 国語(甲) 9単位・一般社会5単位・保健体育9

本校の現状と沿革

単位・計23単位は、すべての生徒が必ず履修しなければならない。

(ロ) 生徒は、必修科目23単位・社会・数学・理科の3教科にわたって選択必修科目15単位(3教科それぞれ1科目5単位ずつ)合せて38単位の外に、47単位以上の科目を選択し、3年間に合計85単位以上を履修しなければならない。

(ハ) 英語以外の外国語及び特別教育活動は、単位として数えない。

(ニ) 研究のため、特別の学級を設ける場合、またはあ

る教科について特別な研究を試みる場合には、本表を基準とはするが多少の変更を行うことがある。

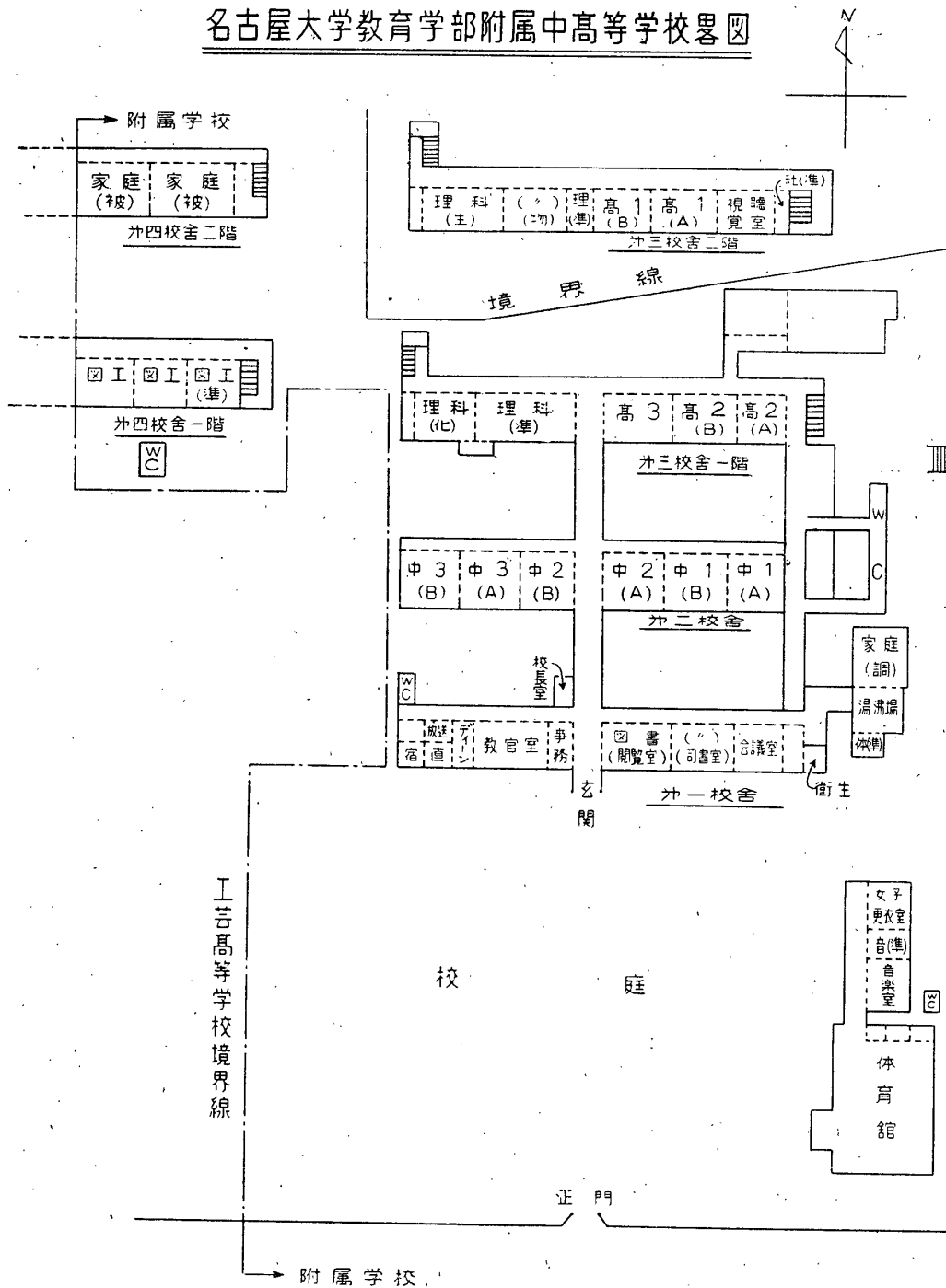
二. 施設

校地全面積 3,575坪

校舎面積 1,241.8坪

運動場面積 1,568坪

名古屋大学教育学部附属中高等学校畧図



本校の現状と沿革

ホ. 教育実習

教生一覽表 (昭和30年度)

所屬	性別	中 学			高 校		計
		国語	社会	英語	社会	英語	
教育	男	1	5		3		9
学部	女						0
文学部	男		1				1
	女			3	2	1	6
計		1	6	3	5	1	16

備 考

1. 文学部中, 文学科4 史学科2 哲学科1

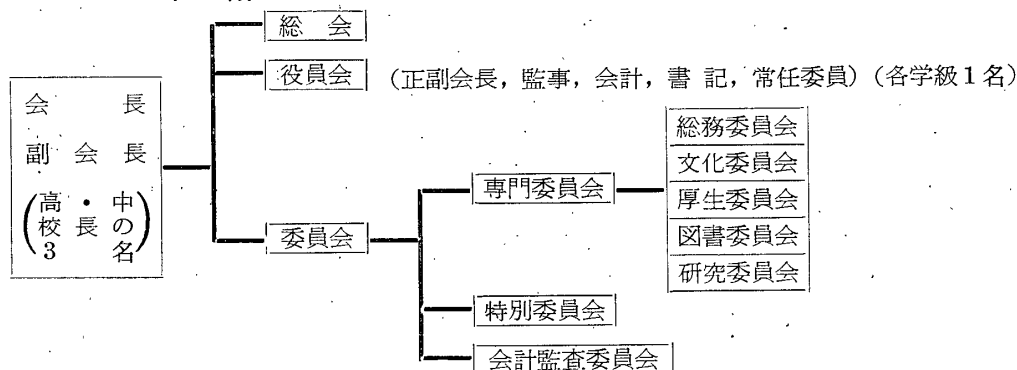
2. 期 間

7月1日—7月14日, 9月1日—9月7日, 3週間

ヘ. 高校卒業生進路別一覽表

進路	卒業年度		昭27年度		昭28年度		昭29年度	
	性別		男	女	男	女	男	女
国立大学			34	5	22	3	2	2
国立大学短期			0	1	0	4	0	1
公立大学			2	0	4	0	0	0
公立短期大学			0	6	0	7	0	3
私立大学			24	5	17	5	3	2
私立短期大学			0	6	0	1	0	3
就職(含家事従事)			9	14	7	8	3	5
その他			2	0	17	0	10	0
小 計			71	37	67	28	18	16
計			108		95		34	

ト. P. T. A. 組織図



チ. 学校図書一覽表

国費 P T A 合計
書総冊数 2,584 4,402 6,986

主類表	整 理 済			未 整 理				備 考		
	国 費	P T A	計	国 費	新 刊	豊川 P T A	計			
0 総 記	164	101	265	}	234	}	590	学校図書館, その他 哲学, 心理, 論理, 宗教 歴史, 伝記, 地理, 紀行 政治, 法律, 経済, 統計, 教育, 各科教育, 民俗 数学, 自然科学, 医学 工学, 工業, 家事, 農林, 水産, 商業, 交通 総記, 美術, 音楽, 演劇, 運動 総記, 日本, 外国 総記, 日本, 外国		
1 哲 学	122	53	175							
2 歴 史	284	234	518							
3 社会学科	459	199	658							
4 自然科学	263	399	662						4	394
5 工 業	33	53	86							74
6 産 業	15	27	42							79
7 芸 術	53	202	255						10	78
8 語 学	42	118	160							59
9 文 学	108	743	851	51						
合 計	1543	2129	3672	612	299	700	3314			
		他に教科書 2194		外に 外国語 429						

本校の現状と沿革

リ. 教育研究一覽表

番号	研究題目	研究者	備考
1	国語・数学・英語における学習問題児の治療指導に関する研究	石黒 [○] ・畑・福中・兵藤・新海・平野・丹下・加藤	基礎学力増進委員会 (○印は主任)
2	中学・高校の生徒指導に関する研究	中尾 [○] ・原田・新海・都築	生徒指導研究委員会
3	進路指導に関する研究	平野 [○] ・力藤十・丹下・織田・新海・兵藤	進路指導研究委員会
4	生徒指導に関する基礎調査 —特に生徒会の指導及び進路指導について—	石黒 [○] ・中尾・中根・畑・兵藤	校内調査及び他校の実情を含む(研究員)6月9日中間発表
5	附属学校における入学者選抜方法の研究	佐伯 [○] ・戸刈・石黒・中尾・中根・畑・兵藤	入学者選抜法研究委員会
6	学校図書館の資料構成に関する研究	渡辺 [○] ・岩倉・丹下・都築・福中・中野	本年度第三回東海三県学校図書館コンクールに参加中
7	高等学校国語科における文法(言語)教材の取扱い方について	鈴木	
8	高校漢文学習における障碍の調査	畑	
9	社会科教育におけるマスコミュニケーションの問題	織田 [○] ・石黒・中尾・都築	第1報を東海教育学会(11月)で発表
10	社会科学習における視聴覚教材の利用方法	織田 [○] ・石黒・中尾・都築	
11	社会科教科内容の分析(教科書の分析)	織田 [○] ・石黒・中尾・都築	第1報を東海教育学会例会(3月)で発表
12	近代教育史	中尾	教育学談話会研究会(11月で発表)
13	教育内容及び方法論(社会・歴史・地理を中心として)	中尾	
14	日本の近代化(思想史を中心として)	都築	
15	名古屋町人について	織田	地方史研究協議会全国大会(11月)で発表
16	国語読解力が各教科学習に及ぼす影響	石黒	教育心理8月号に掲載
17	数学科における能力別指導法について	兵藤 [○] ・岩倉・新海	
18	中学・高校における数学科教科課程について	岩倉 [○] ・兵藤・新海	
19	中学校・高等学校における理科実験指導の基礎研究	三橋 [○] ・中根・戸刈・渡辺・加藤十	29, 30年度文部省科学研究助成金を受ける。理学部有山教育学部塩田, 教養部水野, 各教授を指導者としている。日本理科教育学会6月支部大会及び10月年会発表
20	炭酸カルシウム鉱物結晶形決定の機作	戸刈 [○] ・北大戸刈賢二	第1報を Jour E. S. Hokkaido university Vol. K No. 1 に発表
21	シュレーゲルアオガエルとモリアオガエルとの生理的隔離について	中根	27, 28, 30年度文部省科学研究助成金をうける。広島・仙台・東京(日本動物学会全国大会で発表)
22	電気接点の研究	加藤十	名大助教授荒川泰二氏を指導教官とする
23	水泳の初心者について泳力の実態調査とその指導法に関する研究	天野 [○] ・原田・稲山	
24	平田式体格判定法による生徒の健康状態の実態の把握	天野 [○] ・原田・稲山	
25	平田式体格体力総合判定法による生徒の健康状態の実態の把握	天野 [○] ・原田・稲山	
26	本校の特別教育活動における運動クラブの発生並びに形成についての実態	天野 [○] ・原田・稲山	
27	昭和30年度本校高校新入生の実態(保健体育を中心にして)	天野 [○] ・原田・稲山	
28	音痴教育	佐伯	
29	生徒の知的発達を基礎としての図工科教育内容の検討	中野	

本校の現状と沿革

30	英語教授法よりみた英作文誤謬と国語の影響	丹羽	
31	古代英語 ge- の意味の記述について	丹羽	日本英文学会中部大会で発表 (9月)
32	R. L. Stevenson の Treasure Island における idiom の研究	平野	日本英文学会中部大会で発表予定
33	服飾の研究	金田	

2. 生徒

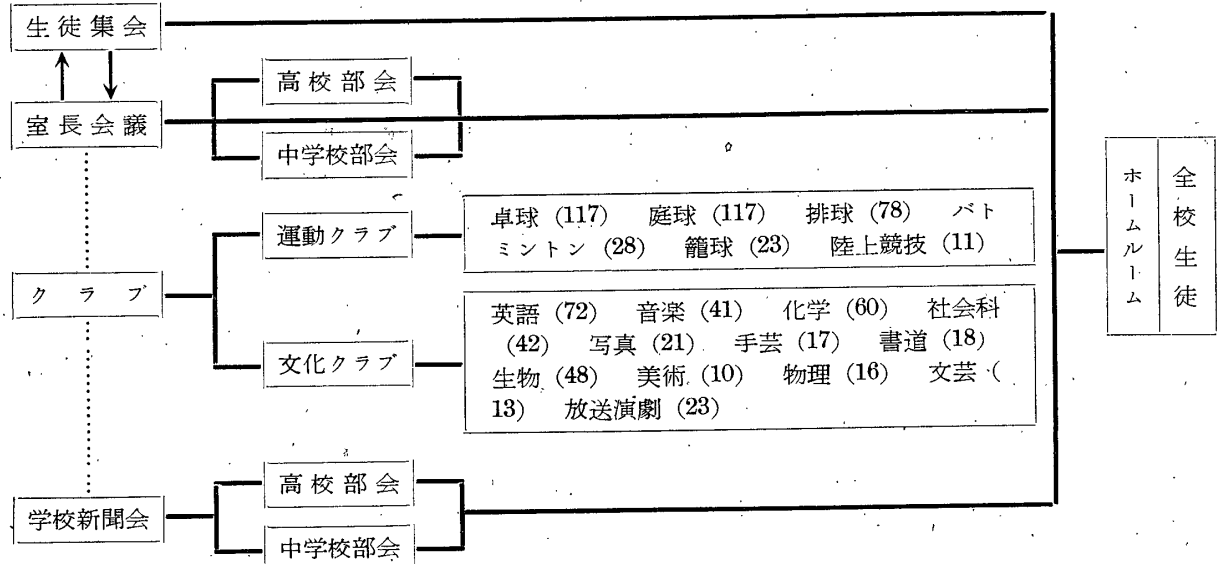
4. 生徒数及び奨学生数

	学年	組	学級担任	男子		女子		計	奨学生
				男子	女子	男子	女子		
中学校	一年	A	都築	30	25	30	25	55	
		B	三橋	30	25	30	25	55	
	二年	A	中根	26	25	26	25	51	
		B	加藤剛	25	25	25	25	50	
	三年	A	加藤十	16	13	16	13	29	
		B	丹下	15	14	15	14	29	
中学校計				142	127	142	127	269	
高等学校	一年	A	畑	33	16	33	16	49	6
		B	中尾	32	18	32	18	50	
	二年	A	鈴木	23	11	23	11	34	3
		B	丹羽	23	11	23	11	34	
	三年		平野	22	6	22	6	28	4
		高等学校計				133	62	133	62
合計				275	189	275	189	464	27

二. 身体状況一覽表

性別	年齢	人員	身長	体重	胸囲	座高
男	12	60	144.0	36.3	71.9	78.3
	13	51	151.6	42.1	71.1	82.4
	14	29	159.2	46.5	78.1	85.8
	15	65	163.3	51.4	79.0	88.3
	16	46	162.7	54.5	79.4	89.5
	17	22	164.8	54.7	85.3	88.7
女	12	50	146.0	39.6	74.4	80.5
	13	50	150.3	44.5	73.0	82.9
	14	26	152.2	44.8	78.5	84.1
	15	33	152.2	46.8	77.9	83.4
	16	22	153.0	50.5	84.6	84.7
	17	6	151.3	48.0	78.9	83.3

ロ. 特別教育活動組織図



本校の現状と沿革

ハ. 生徒通学区別一覽表

	中 学	高 校	計
中 区	43	19	62
千 種 区	29	27	56
昭 和 区	28	23	51
東 区	26	22	48
北 区	32	13	45
中 村 区	20	18	38
瑞 穂 区	14	14	28
西 区	16	6	22
熱 田 区	9	13	22
南 区	12	8	20
中 川 区	10	7	17
港 区	5	3	8
市 外	25	22	47
合 計	269	195	464

附表 保護者職業別一覽表

	中 学	高 校	計
農 業	3	4	7
工 業	5	8	13
商 業	46	24	70
会 社 員	91	71	162
公 務 員	51	25	76
教 員	43	33	76
自 由 業	6	4	10
医 者	16	14	30
僧 侶	5	2	7
無 職	3	10	13
合 計	269	195	464

Ⅱ 沿 革

昭和20年

4月1日 岡崎高等師範学校設立認可及び官制公布

昭和22年

3月20日 岡崎高等師範学校附属中学校(旧制5ヶ年)創立準備委員会発足

4月1日 附属中学校を豊川市牛久保町奥代田15番地に設置

4月24日 岡崎高師教授隈元保附属中学校主事となる

5月5日 第1回入学式举行 第1学年2学級生徒88名入学

5月23日 官制公布

昭和23年

4月15日 第2回入学式举行 生徒116名入学

昭和24年

4月15日 第3回入学式举行 生徒88名入学

6月1日 国立大学設置法により名古屋大学岡崎高等師範学校附属中学校となる

6月23日 学習指導法研究協議会開催

11月5・6日 学習指導総合研究会開催 新教育の実践と批判第1集発行

11月22日 名古屋大学岡崎高等師範学校附属高等学校創立委員会発足

昭和25年

3月16日 附属中学校第1回卒業式举行卒業生88名

3月31日 隈元主事転任

4月1日 附属高等学校を豊川市牛久保町奥代田15番地に設置

名大岡崎高師教授秋元照夫附属高等学校主事となる

名大岡崎高師教授塩田芳久附属中学校主事となる

4月17日 附属中学校第4回入学式举行 生徒89名入学

4月18日 附属高等学校第1回入学式举行 第1学年2学級生徒108名入学

昭和26年

3月25日 附属中学校第2回卒業式举行 卒業生108名

4月13日 附属中学校第5回入学式举行 86名入学

4月9日 附属高等学校第2回入学式举行

本校の現状と沿革

- 100名入学
- 11月30日 中等教育研究協議会開催
- 12月1日 新教育の実践と批判第2集発行
- 昭和27年
- 3月25日 附属中学校第3回卒業式挙行 卒業生86名
- 3月31日 附属中学校塩用主事附属高等学校秋元主事共に辞任
名大岡崎高師廃校
- 4月1日 名古屋大学教育学部附属中学校同高等学校となる
名大教育学部教授細谷俊夫附属中学校附属高等学校校長となる
- 4月10日 豊川市牛久保町中代田1番地旧岡崎—14日 高師校舎へ移転
- 4月15日 附属中学校第6回附属高等学校第3回入学式挙行 中学校46名 高等学校45名入学
- 10月15日 細谷校長辞任
- 10月16日 名大教育学部長依田 新校長事務取扱となる
- 昭和28年
- 3月11日 附属中学校第4回・附属高等学校第1回卒業式挙行 卒業生中学校80名 高等学校108名
- 3月31日 依田校長事務取扱辞任
- 4月1日 名大教育学部教授近藤貞次附属中学校附属高等学校校長となる
- 本年度から豊川において附属中学校附属高等学校の新入生の募集を停止
- 5月上旬 名古屋市東区東芳野町1丁目10番地に本校の1部を移転
- 5月15日 名古屋において附属中学校第7回附属高等学校第4回入学式挙行 中学校48名 高等学校20名入学
- 昭和29年
- 3月11日 豊川において附属中学校第5回附属高等学校第2回卒業式挙行 卒業生中学校76名 高等学校95名
- 4月12日 名古屋において附属中学校第8回附属高等学校第5回入学式挙行 中学校104名 高等学校68名入学
- 昭和30年
- 3月10日 豊川において附属中学校第6回附属高等学校第3回卒業式挙行 卒業生中学校33名 高等学校34名
豊川における教育を終り名古屋へ移転を開始
- 4月9日 附属中学校第9回附属高等学校第6回入学式挙行 中学校110名 高等学校98名
- 6月9日 前校舎から東隣りの東区東芳野町2丁目1番地旧学芸大学附属小学校校舎へ移転を完了
- 10月27日—30日 移転完了を記念して学園祭を実施